

令和5年度 第3回 浜松市立泉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月5日（月） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立泉小学校 家庭科室
- 3 出席委員 鈴木章弘会長、仲田始副会長、岩崎まさの、新村友得、和田円、石澤光也、安藤幸枝、
- 4 オブザーバー 河西博昭（高台協働センター）、中川もも子
- 5 学校支援コーディネーター 黒田 裕美子
- 6 学 校 校長、教頭、主幹、CS担当教諭、CSディレクター
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）

8 協議事項

- （1）学校関係者評価の説明（いじめ防止基本方針に関わるものを含む）
- （2）次年度の学校運営基本方針の提案・承認
- （3）学校運営協議会自己評価の報告
- （4）今年度CS活動の成果と課題
- （5）夢育やらまいかCS加算分の報告について

- 9 会議録作成者 CSディレクター

10 会議記録

司会から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議

（1）学校関係者評価の説明（いじめ防止基本方針に関わるものを含む）

- ・主幹よりR5グランドデザインの説明・重点の集計結果、学校いじめ防止基本方針について定期的な見直し、取り組みについての説明があった。
- ・いじめの件数＝人数ではない。
- ・学校の先生はオーバーワークで休職する方がいると聞いた。負担が大きいのではないかと。誰がいじめや保護者の対応しているのか？（会長）→まずは担任。学校としては話しやすい先生、学年主任、生徒指導、管理職が複数で対応し保護者に連絡している。担任は授業を進めないといけないのでフリーが対応することもある。その場合、担任と情報共有している。
- ・下校の見回りで一年生が4、5人でひとりの子を叩いていた。最後は「ごめんね。」とは言っていた。地域の者として明らかにいじめているなと思ったら学校に連絡は必要だと思った。（岩崎委員）
- ・学校での出来事を友達に対して家庭で言える環境があればいいと思う。（安藤委員）

- ・学校と放課後児童会の情報共有が欲しい。(和田委員)
- ・いじめと言うのは、小学校・中学校・高校。社会に出ればセクハラ、パワハラ色々ある。本人がそう思えばそうになってしまう。(仲田副会長)
- ・なんでも相談アンケートは無記名ですか？そうでなければ正直に書けないと思う。学期に一回くらい行えば書きやすくなるのでないか。(和田委員)
- ・アンケートで保護者からの評価が低いのは、様子が分からないから回答が出来ないと思う。親も子供と向き合うよう事が必要だと思った。(新村委員)

(2) 次年度の学校運営基本方針の提案・承認

- ・校長より学校教育目標を変更したことについて説明があった。
- ・正式な承認は次年度。(仲田副会長)
- ・教師間の年齢の差があり、コミュニケーションをとるのが難しいと聞いた。地域の課題は横の繋がりがなかなか取れない。防災の講師の先生は、子供たちの見回りを増やそうと言っていた。地味な活動を続けていければと思った。(鈴木会長)

(3) 学校運営協議会自己評価の報告

- ・鈴木会長より自己評価の報告があった。

(4) 今年度CS活動の成果と課題

- ・和田委員から振り返りの説明があった。
- ・地域の方の参加者は増えているのか？(岩崎委員) → 顔ぶれはかわっているが、人数に変動はあまりない。学校に来ることに抵抗があると思う。(和田委員)
- ・サロンのような年配の方が集まるところに説明に来ていただけるといいと思う。(岩崎委員)
- ・継続していく事が大事。(仲田副会長)

(5) 夢育やらまいかCS加算分の報告について

- ・教頭より夢育やらまいかの活動について説明があった。

その他報告事項等

- ・令和6年度学校運営協議会の予定について説明があった。